

# 熱川温泉病院

大塩香織(理学療法士 主任) 井上紗希(理学療法士)  
長谷川弓子(作業療法士 主任) 鈴木大恵(作業療法士)

- 功 績** 「こどもおとな食堂」のボランティアの一環でリハビリ体操を住民向けに行い、地域の皆さんの健康づくりと健育会グループで取り組んでいるアウターブランディング強化に貢献した功績。
- 推 薦 者** 坂田 友和(医療連携室長)
- 推 薦 理 由** 被推薦者4名は東伊豆町で行われている「こどもおとな食堂」へのボランティア活動のお話を伺った際に、先方の「楽しい時間を作りたい」との希望に寄り添って企画案を作成。実際の活動でも住民の皆さんがとても喜んで頂けた内容となりました。アウターブランディング強化に貢献したと思いますので是非理事長賞にご推薦申し上げます。

## 内 容

健育会グループでは昨年より「アウターブランディング」強化の一環として、各病院・施設で地域交流(ボランティア)を積極的に行っていますが、当院でも今年6月より、ライフケアガーデン熱川と協力して毎月第4土曜日にある寺内の保育園で開かれている「こどもおとな食堂」でボランティア活動として健康体操を住民の皆さんと一緒に行うことになりました。そして積極的に企画の立ち上げから実際の住民の皆さんとの体操や脳トレの指導まで主体的に活動を行ってくれたのが、理学療法士の大塩・井上、作業療法士の長谷川・鈴木の4名です。

まず始めに、主催のお寺の住職より「家族の在り方の変化」により高齢者の「孤食」を何とかしたいとの思いから当事業を始め、住民の皆さんへ安く食事を提供しながら楽しくおしゃべりをする時間を作りたいとお話を伺いました。そこで、食事の前に童謡を歌ってリラックスしてから、体操や脳トレ、高齢者向けの講話などを住民の皆さんが「楽しみながら」実施することを基本に企画案を作成。6月より実際の活動を開始しました。

初回は14名の住民の皆さんの前で事前のウォーミングアップ替わりのラジオ体操のあと、PT大塩はコグニサイズ(認知症の予防運動)や膝痛・腰痛予防体操を一緒に行い、PT井上は事前に用意した資料をもとに高齢者が特に注意したい熱中症予防の講話をしました。

翌月の2回目は参加者12名ほどで、OT長谷川は「駅・電車」などの言葉を思い出す認知機能トレーニングを、鈴木は緑色で書かれた「青(あお)」という文字を正確に認識して答える課題を出して挑戦していただきました。

いずれの回も持ち時間20分～30分ほどで和やかな雰囲気の中、皆さんの笑い声が上がったり、楽しみながら体と頭を動かしていただき、楽しくリハビリができる熱川温泉病院の良いアピールの場となりました。今後

は、8月は薬剤師、9月は研修医による講話を予定しております。引き続き地域の皆さまの健康づくりと当院のアウトブランディング強化に貢献できるよう、全部署「Our Team」で継続して取り組んで参ります。